



世界の主要照明業界団体がLED照明でもリーダーシップ表明

2010年10月13日
中国、シンセン

世界の照明業界はLED照明普及を加速するためグローバル・ベースで技術促進を図る取り組みを発足し、中国、シンセンで開催された第4回グローバル・ライティング・フォーラム（GLF）で第一回目の会議を開催した。

LEDは省エネ、光の質、寿命、適応性などメリットが大きいため、照明に革命的变化をもたらす。このLEDの導入を速やかに促すため、GLFではワーキング・グループを発足、活動を進める予定だ。

GLF会長ヤン・デンスマン氏は「LEDはほとんどの分野で主要な役割を果たすだろう。省エネ促進をしながらも照明の新分野も開拓できる画期的技術だ」と、述べている。

GLFでは下記の活動を優先的に始める予定だ。

- 各国政府、国際機関を含むステーク・ホルダーと連携し、市場のニーズに合った性能基準を提案しLED製品の品質向上を図る。
- 国際規格制定、世界各地の規格の調和に尽力する。
- 使用ガイドライン、用語ガイドなどSSLに関する啓蒙的文書を作成する。

GLFは世界各国・地域の照明関連工業会からなるフォーラムで、全体で5000社のメーカー、年商500億ドルをカバーすることになる。

メンバー構成は次の通り；

Abilux（ブラジル）

China Association of Lighting Industry – CALI（中国）

Electric Lamp and Component Manufacturers Association – ELCOMA（インド）

European Lamp Companies Federation – ELC（欧州）

Japan Electric Lamp Manufacturers Association – JELMA（日本）

Japan Luminaires Association – JLA（日本）

Lighting Council Australia – LCA（オーストラリア）

National Electrical Manufacturers Association – NEMA（米国）

Taiwan Lighting Fixture Export Association – TLFEA（台湾）

CELMA（欧州）（オブザーバー）

（問合せ先）

（社）日本電球工業会： <http://www.jelma.or.jp/>